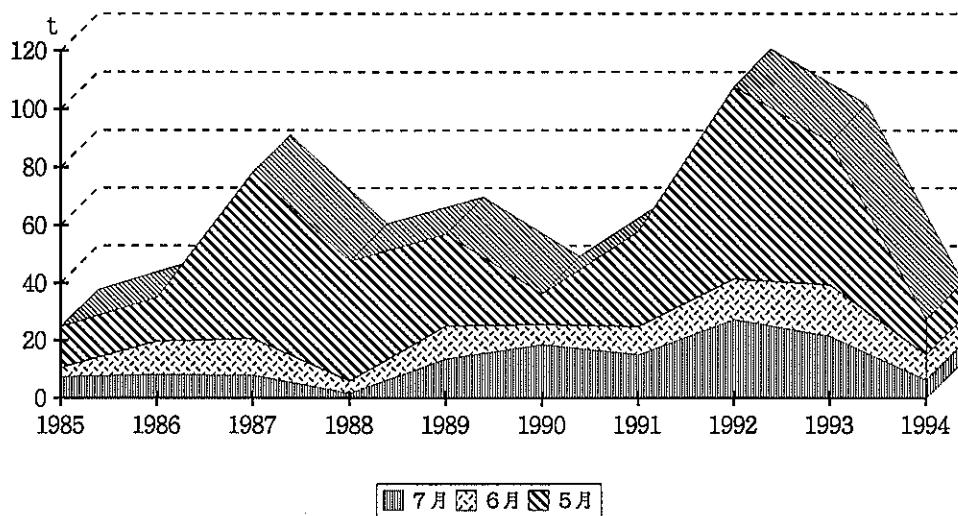


パヤオ情報

1994年8月 沖縄県水産試験場

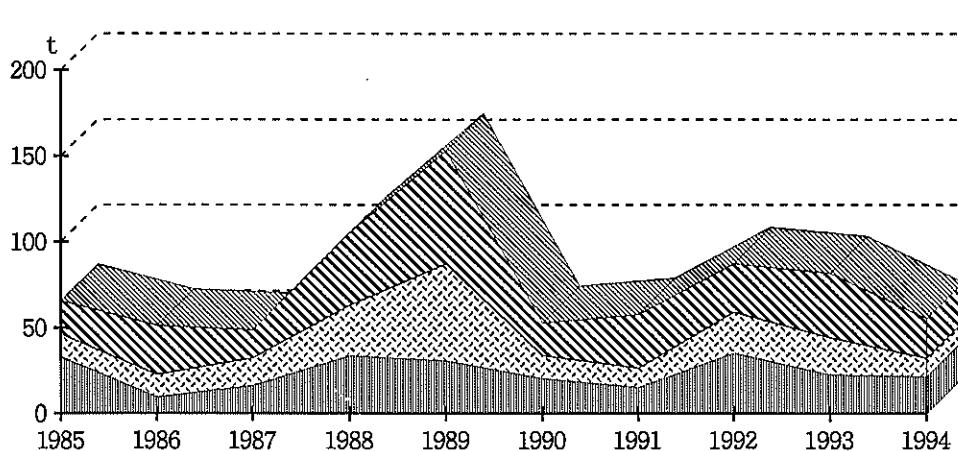
今年のパヤオ漁は悪いと言われていますが、沖縄本島南方海域のパヤオに出漁する糸満漁協、港川漁協、知念漁協、沖縄市漁協のパヤオ漁の漁獲量を整理してみました。その結果、パヤオ漁の主要な対象魚であるキハダ（10kg以上）、シビ（10kg未満）、シイラの今年5月～7月の漁獲量は、例年と比べてたしかに少ない模様です。

キハダ生産量の推移（沖縄島南）



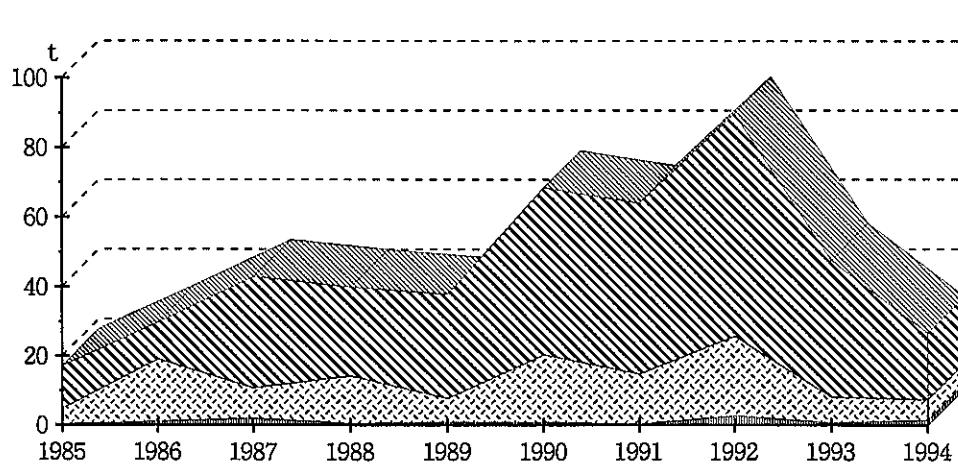
沖縄本島南海域のパヤオにおける5月～7月のキハダの漁獲量は、1992年には110t近くあつたものが、1994年には30t程度に減少していります。特に5月の漁獲量が少なかったようです。

シビ生産量の推移（沖縄島南）



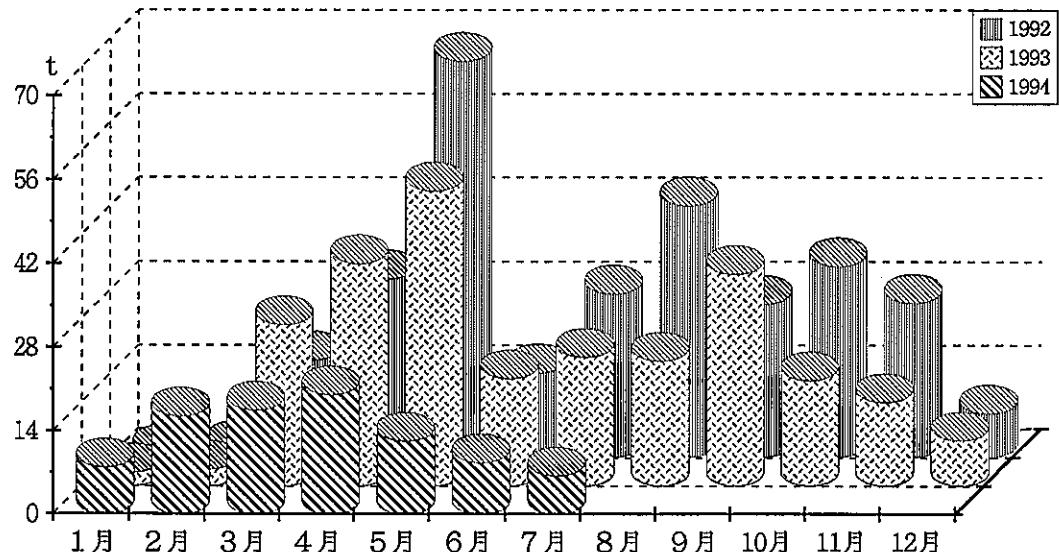
シビの生産量も1992年、1993年と比べると若干減少しています。しかし、7月は昨年並みの漁獲があったようです。

シイラ生産量の推移（沖縄島南）



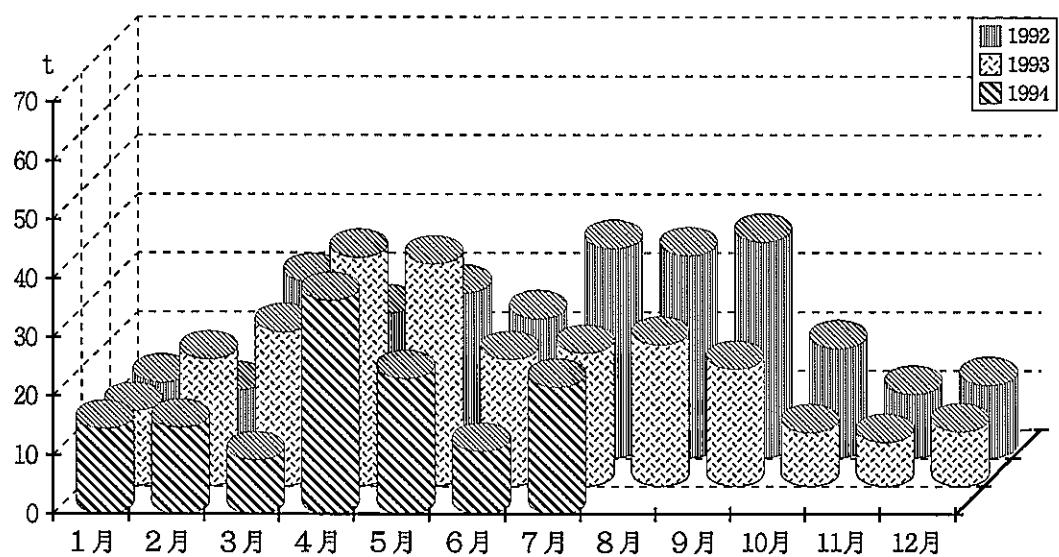
シイラの漁獲量は、1992年まで急に増えてきましたが、93年、94年は急に減少しました。特に5月が減少しています。

月別キハダ生産量の推移



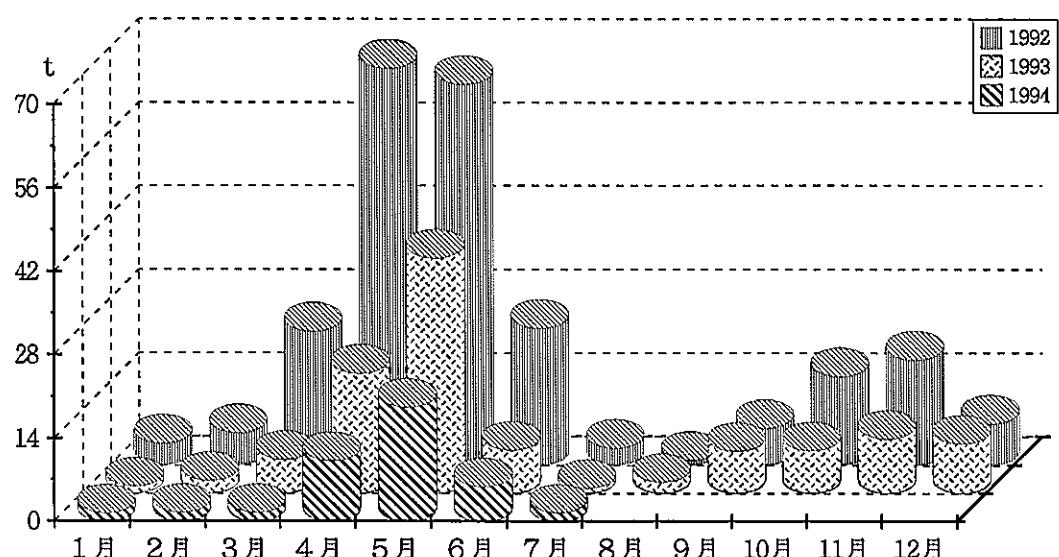
キハダの漁獲量は、8月、9月が過去2年間に比べて多い。しかし、10月、11月、12月が過去2年間に比べて少ない。また、過去2年間は、例年よりも多く漁獲されています。

月別シビ生産量の推移



シビの漁獲量は例年より多いです。今年は過去2年間と比べて若干減少しています。

月別シイラ生産量の推移



シイラの漁獲量は通年で、過去2年間と比べて年々増加しました。しかし、過去2年間は、例年よりも少ない春に漁獲されました。